



みだっ子

かれ 5 年12月 6 日 (水) NO. 18

第**75回 人権週間** 12/4~12/10 です。

※11 月はいじめ防止強化月間でしたが、12 月は人権について対対えてみましょう。

田 和23 (1948) 年12月10 日, 国際連合第3回総会において,「世界人権宣言」が採択されました。この採択日である12月10日を「人権デー」と定め、昭和24年から毎年, がつ にち がつ にち しんけんしゅうかん きだ じんけんけいはつかつどう きょうか おこな 12月4日~12月10日を「人権 週間」と定め、全国的に人権啓発活動を強化して行っています。

いじめや虐待、性被害等のこどもの人権問題、インターネット上の人権侵害、障がいのある人や外国人、性的マイノリティ等に対する偏見や差別、部落問題(同和問題)、ハンセン病問題といった多様な人権問題が依然として存在しています。

この人権週間をきっかけに、私たちの周りにある人権問題について考えてみてください。



- ・現在, 鈴鹿市の小中学校には, 外国につながりのある児童生徒は約770人在籍しているが, しょいしょうちゅう がっこう さいせき 市内小中学校40校中, 38校に在籍している。その数は, 年々増えており, 本校でも増えている。
- ・在籍人数が多い学校には、国際教室が設置されているが、本校では、ひと月に数回、教育
 いいんかい つうやく かた はけん
 委員会から通訳の方を派遣していただき、授業での支援や翻訳などをお願いしている。また、

宝くご じかん 国語の時間には、取り出し授業を行い、日本語指導を行っている。

文化や習慣、価値観等の違いはあっても、すべての子どもたちが、等しく自分の存在を肯定的に受け止め、夢や希望を見出し、自分の人生を豊かに歩んでいけるよう、そして互いに違いを認め合い、共に生きる社会を築いていくために、学校や保護者、地域がそれぞれできることを考え、連携・協働して取り組んでいきたいですね。

人権フォーラムで小・中学生が交流と

12月1日(金)に大木中学校で、大木中の1年生、長太小学校の6年生、箕田小学 校の6年生の代表者が6人ずつ集まって人権フォーラムを行いました。

今年のテーマは、『仲間としてつながろう』でした。事前に、各学校の学級でも話したい、自分たちのクラスの課題を見つめ直し、実践していること、大切に取り組んでいきたいと思っていることなどについて考えました。当日は、3グループに分かれ意見を出し合い、本当の仲間としてつながっていくためには、どうしていくべきか、考えを深め合いました。



がっこっ 学校では

> クラスの仲間のすてきなところを みんなでお互い書いて、 伝え合う 取組を全校で 行いました。



道徳や学活、総合の時間を 活用して、人権について考える 授業を行っています。